



広報



常陸大宮



2015
8
No.131

第20回ママさんバレーボール大会

主な内容

P4～5	地域をつなぐ公共交通
P6～9	特集 鷲子山上神社祇園祭
P10～15	まちのできごと
P19	ふるさと見て歩き
P21	消防・救急フェア2015

マタニティマークを知っていますか？

マタニティマークは「妊産婦さんへの思いやり」マーク

※国民運動計画「健やか親子21」推進検討会で、妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保を目指し、「マタニティマーク」を発表しました。



妊娠中、特に初期は、赤ちゃんの成長はもちろん、妊婦さんの健康を維持するためにとっても大切な時期です。

しかしこの時期は、つらい症状があっても外見から見分けがつかないため、妊婦さんにとって、様々な苦勞があります。

～妊産婦さんへのやさしい環境づくりのために～

このマークをつけている妊産婦さんを見かけたら、思いやりのある配慮にご協力ください。

🍃 近くでたばこを吸わない 🍃

🍃 病院や電車などで席を譲る 🍃

🍃 ぶつからないように気をつける 🍃

などなど

市では、親子（母子）健康手帳交付時に、マタニティマークのキーホルダーやステッカーを妊婦さんに配布しています。



このマークを見たら、優しい心配りをお願いします



また2カ月に1回、総合保健福祉センター（かがやき）で、マタニティ教室を開催しています。妊娠期の不安や心配なこと、出産後の生活についてのアドバイスなどを行っています。お気軽にご参加ください。

詳しくは、広報常陸大宮お知らせ版に掲載しています。

■問い合わせ■

健康推進課 総合保健福祉センター（かがやき）内

☎54-7121



▲マタニティ教室の様子



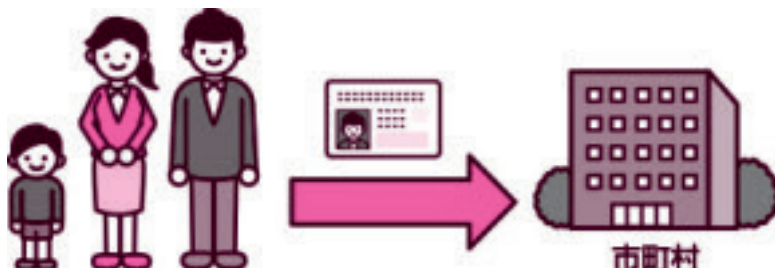
1人に1つ。マイナンバー

<応用編 その2>

マイナンバーは、実際に次のような場面で使います。

<児童手当現況届>

毎年6月に児童手当の現況届を提出する際に、市へ提示します。



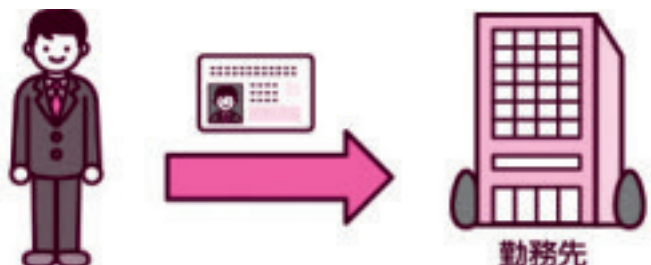
<厚生年金の請求>

厚生年金を請求する時に、年金事務所へ提示します。



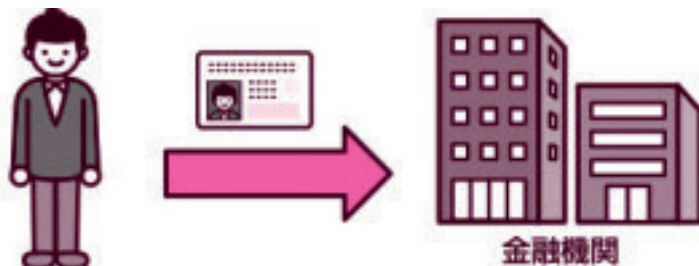
<源泉徴収票等に記載>

勤務先にマイナンバーを提示します。勤務先は、それを記載して、税務署や市に源泉徴収票を提出します。



<法定調書等に記載>

金融機関等にマイナンバーを提示します。金融機関は、それを法定調書（保険金の支払調書、特定口座の開設等）に記載して、税務署へ提出します。



将来的にはこんなメリットも！

- ・予防接種の履歴や確定申告に必要な情報などをネットで取得。
- ・引越しなどの複数の届出が、パソコンでまとめてできる。

■問い合わせ■ 企画政策課 企画政策グループ ☎52-1111（内線309）

地域をつなぐ公共交通

市では、地域にあった持続可能な公共交通体系の構築に向け、利用者のニーズに対応し、各公共交通の「地域公共交通会議」で決定された見直し方針に基づき、市民バス・予約制乗合タクシー・福祉タクシー（利皆さんの利用目的や用途にあわせて、ぜひ市の公共交通を有効にご活用ください。

市民バス

市内を定時・定路線で運行する、誰でも無料で利用できるバスです。各地域内循環路線が25コース、大宮地域への地域間路線が6コース、小瀬高校路線が2コース、温泉循環路線が1コースの全34コースを運行しています。どの路線も平日のみの運行です（12月29日から翌年1月3日を除く）。

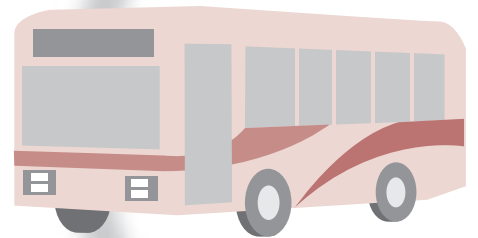
<改正点：運行日の変更>

- ・各地域内循環路線 週2～3日 → 週2日
- ・大宮地域への地域間路線 週5日 → 週3日
- ・小瀬高校路線、温泉循環路線は変更なし

※この変更とあわせて、運行時刻が一部変更になるコースがあります。
詳しい運行内容等は、9月10日発行の「広報常陸大宮お知らせ版 No.309」に掲載します。

【利用運賃・利用方法等】

料金は無料です。乗車の際は、指定の停留所で手を挙げて運転手にお知らせください。降車の際は、降車場所を事前に運転手にお知らせください。



福祉タクシー

医療機関や、公共施設を利用する際の交通手段を確保する一助として、「福祉タクシー券」を交付し、タクシーを利用した時の費用の一部を助成しています。年間最大48枚まで利用できます。交付には、市役所介護高齢課または各総合支所市民福祉課へ事前の申請が必要です。

<改正点：利用条件の変更>

下記の施設を利用する際に、それ以外の場所への一時的な立ち寄り（買い物、見舞い等）が可能となりました（ただし発着地は、自宅または下記施設のみです）。

- ・医療機関（市外の医療機関も含む）
- ・市役所（各総合支所も含む）及び市内の公の施設

【対象者】

- 次のいずれかに該当する方
- ・満65歳以上の方
 - ・身体障害者手帳の交付を受けた方
 - ・療育手帳の交付を受けた方

【利用負担額表】

タクシー利用料金	利用者負担
1,000円以下	400円
1,001円～2,000円	800円
2,001円～3,000円	1,200円
3,001円～4,000円	1,600円
4,001円～5,000円	2,000円
5,001円～	3,000円を控除した額

～ 10 月 1 日からリニューアル～

性を活かした、より効率的・効果的な運行の見直しを検討してきました。今年4月に開催した「常陸大宮市
用料金助成事業」の運行内容等をリニューアルします。

予約制乗合タクシー

予約制の乗合方式による送迎サービスです。運行区域内であれば、自宅
や指定の場所から目的地（戸口から戸口）まで、電話予約等で利用できま
す。なお、目的地に直行する通常のタクシーとは異なり、他の人と乗り合
わせになります。運行日は平日のみです（12月29日から翌年1月3日を除
く）。

<改正点：運行区域の変更>

市内全域の移動が可能となりました



【利用方法】

利用を希望する場合は事前の登録が必要です。また利用の際は、利用希
望便の1時間前までに、電話で利用時間や目的地等の予約をしてくださ
い。

※ただし午前8時便、午前9時便を利用する場合は、前日までに予約を
してください。

詳しくは、市社会福祉協議会にお問い合わせください。

【利用運賃】

- ・300円/回
- ・小学生以下、障がいのある
方、要介護者及び要支援
者、介添者 150円/回
- ・3歳未満児は無料

【運行時間】

大宮地域		大宮地域以外	
午前	8 : 00	午前	8 : 00
	9 : 00		なし
	10 : 00		10 : 00
	11 : 00		なし
※正午～午後1時は運行しません。			
午後	1 : 00	午後	1 : 00
	2 : 00		なし
	3 : 00		3 : 00

■問い合わせ■

『市 民 バ ス』 企画政策課 企画政策グループ ☎52 - 1111（内線310）
『福 祉 タ ク シ ー』 介護高齢課 介護・高齢者福祉グループ ”（内線176）
各総合支所 市民福祉課 福祉健康グループ（代表）
山方 ☎57 - 2121 美和 ☎58 - 2111
緒川 ☎56 - 2111 御前山 ☎55 - 2111
『予約制乗合タクシー』 市社会福祉協議会 ☎53 - 1125

鷲子山上神社祇園祭



7月19日、「鷺子山上神社祇園祭」が開催され、多くの見物客でにぎわいました。
その当日の盛り上がりや祭りに関わった人たちの様子をお伝えします。

～ 伝統を受け継ぐ～

<実行委員長の川野和彦さんにインタビュー>



<5年ぶりの開催>

平成22年の開催から5年。東日本大震災の影響などもあり、4年に一度が5年ぶりの開催となりました。震災後、初めての開催なので、氏子をはじめ多くの人が待ちに待ったお祭りとなりました。

<祭りの特徴>

民衆に開放されたこのお祭りは、地域の人にとって誇りであり、またこの祭りが人々の繋がりを深めます。鷺子地域には、江戸から大正時代にかけて制作された6台の山車・屋台があります。鷺子彫りで飾られ、激しくも軽快なお囃子とともに、お祭り会場に引きつける勇壮な姿は必見です。

<開催にあたって苦労したこと>

神輿・山車・屋台は国道293号線を6kmにわたって運行します。昭和50年代までは交通量も少なく、支障はなかったのですが、年々車両が大型化し、いかに安全を確保して行かうか苦心しました。

このため、今回は危険な場所を見直し、警察署や交通安全協会などの協力を得て、安全に楽しく開催できるよう心がけました。

<これから祭りの伝統を守っていくためには>

伝統は人から人へ受け継がれます。今、この地域では少子高齢化が進行していますが、祭りに携わるすべての人が祭りを続けていきたいと願っていますので、これが大きな力になります。またこの祭りは民衆に開放された祭りですので、鷺子地域以外の協力者も得ながら、山車や屋台の運行、お囃子などを伝えていくことも一つの方法だと思っています。

<当日までの準備やお囃子の練習>



神輿の渡御



組から組へ神輿の引渡し



神輿の安全な渡御を祈願



鷺子山上神社祇園祭では、造花や

ました。また神社から担ぎ出された神輿は、鳥居を渡御しました。

そして日暮れが迫る頃、山車や屋台が祭礼会場登場すると、大きな歓声が上がりました。最後に雨の中、5年ぶりの夏祭りは大きな盛り上がり

みちの駅みわでお囃子を披露



ちびっ子もお手伝い



鳥居土組の屋台



花輪組の屋台





宿組



袋木組



雨の中、山車と屋台が勢揃い

提灯で飾り付けられた6台の山車や屋台が巡行し
土組から下郷組まで、6つの組の担ぎ手が各地区

への「引きつけ」のために集結。会場へ一台ずつ
お囃子の競演である「ぶんぬき」で祭りは最高潮に。
見せ、多くの観客を楽しませました。



仲島組



花輪組



下郷組

7/5

一斉クリーン作戦



市内全域で、一斉クリーン作戦を実施しました。

ごみのない清潔で住みよいまちづくりを目指して、各地区の環境保全推進委員長を中心に、地域住民や市内中学校、市ライオンズクラブ、市建設業協会、市内郵便局、筑波銀行など約9,700人が、道路と河川の空き缶やペットボトル、紙くずなどのごみを回収しました。

その結果、可燃ごみ2,510kg、不燃ごみ1,550kg、その他粗大ごみが回収されました。

参加された皆さん、当日は悪天候の中、大変お疲れ様でした。ご協力ありがとうございました。



7/18~

県スポ少軟式野球大会

大宮運動公園市民球場で、各地域の予選を勝ち抜いた33チームが参加して「第32回県スポーツ少年団軟式野球大会」が開催されました。

市内からは、開催地枠で「上野ホワイトナイツ」が出場し、開会式では、瀧純平君（大宮サッカースポーツ少年団）が歓迎の言葉を述べました。



7/5

北原遺跡現地説明会

岩崎地内の国道118号沿いで、市道改良工事に伴う北原遺跡第2次発掘調査が、今年5月から行われました。その調査成果をお披露目する現地説明会が行われ、あいにくの悪天候の中でしたが、約50人が参加しました。

平成25年度に行われた第1次調査では、平安時代の大規模な集落が確認されています。今回の第2次調査では、その集落がさらに広範囲にわたって分布していたことが分かりました。また縄文土器、鎌倉時代の建物の跡、江戸時代の墓の跡など、より幅広い時代の生活の痕跡が見つかっています。



当日は、強かった雨もしだいに落ち着き、集まった皆さんは、はるか昔の岩崎地区の姿に思いをはせることができました。

7/14

文化財パトロール実施中！

文化財は、地域の歴史や文化の成り立ちを理解するうえで、欠くことのできない貴重な歴史的財産で、将来の文化の向上・発展の基礎をなすものです。市には、県・市指定の文化財や遺跡など多くの文化財が所在しています。皆さんも機会があれば、ぜひご覧ください。

また県と市では、これらの貴重な文化財を保護するために、文化財保護指導委員による文化財の巡視を実施しています。第1回巡視は7月14日に実施され、市内の文化財・遺跡について異常のないことを確認しました。なお巡視は年3回予定されていますので、皆さんのお近くへ行った際には、ご協力をよろしくお願いします。



7/1

社会を明るくする運動

市役所で、第65回「社会を明るくする運動」に関する内閣総理大臣からのメッセージが、那珂地区保護司会大宮分会会長 岡山和夫氏ほか2名から市長へ伝達されました。

この運動は、すべての国民が犯罪や非行の防止と、過ちを犯した人の立ち直りについて理解を深め、それぞれの立場で力を合わせ、犯罪や非行のない安全で安心な地域社会を築こうとする全国的な運動です。



7/19

第6回七夕まつりin緒川

7月16日から19日まで「第6回七夕まつりin緒川」が開催され、上小瀬の宿通りに七夕飾りが飾り付けられました。19日のイベントでは、小瀬高校吹奏楽部の演奏や、フラダンスなどが披露され、祭りを盛り上げていました。



7/5

漆塗り体験教室

山方地域の特産品である漆の素晴らしさを継承していくために、本間健司氏（漆工芸荻房奥久慈の代表）の親切で丁寧な指導のもと、漆塗り体験を実施しました。



小学2年生から60歳代までの市内在住の10人が参加し、それぞれお箸1膳・小皿1枚の作品に、3色（黒、弁柄、すりおろし）から好きな色を選んで、思い思いに漆を塗りました。参加者は、自分だけのオリジナル作品を作るという意気込みで、とても張り切っていました。

この後8月と9月の2回にわたり、さらに塗りや螺鈿^{らでん}付けをして仕上げ、漆掻き見学も行う予定です。



市議会臨時会及び定例会

第2回市議会臨時会が5月1日に、第3回市議会臨時会が7月29日に開会されました。この臨時会では、次の議案（市長提出議案）の審議が行われ、それぞれ承認及び可決されました。

専決処分

- 常陸大宮市税条例の一部を改正する条例
- 常陸大宮市国民健康保険税条例の一部を改正する条例
- 平成26年度常陸大宮市一般会計補正予算
- 平成26年度常陸大宮市国民健康保険特別会計補正予算

その他

- 工事請負契約の締結について（道の駅建築工事）
- 工事請負契約の締結について（第二中学校校舎改築及び解体工事）

第2回市議会定例会が6月11日から25日まで開会されました。この定例会では、次の議案（市長提出議案）の審議が行われ、それぞれ可決されました。

条例

- 常陸大宮市介護保険条例の一部を改正する条例

平成27年度補正予算

- 常陸大宮市一般会計補正予算・特別会計（2会計）補正予算

その他

- 財産の取得について
- 財産の処分について

7/13

農業経営士・青年農業士

県農業経営士を退任した堀江甫さん（小舟）と、新たに県青年農業士に認定された大貫寛一さん（若林）が市長室を訪れ、退任・認定の報告を行いました。

堀江さんは、栽培の中心であるシイタケに加え、かんしょ栽培・干し芋加工・販売に取り組んでいます。認定を受けてから15年間、県や地域の農業振興に貢献しました。今回の退任にあたり、知事から感謝状が授与されました。



▲退任された堀江さん

大貫さんは、ハウスや露地でナスの周年栽培に取り組みながら、市内の若手農業後継者で結成する「常陸大宮5Hクラブ」の会長を務めました。今後とも、地域内外の青年農業者リーダーとしての活躍が期待されることから、このたび青年農業士として知事からの認定を受けました。



▲認定を受けた大貫さん

8/1

長倉七夕まつり

毎年コンクール形式で競う長倉七夕まつりが今年で63回を迎え、長倉宿通りで開催されました。この飾りは、地元の商店や個人などが出店していて、特等賞（知事賞）には、青柳文具店の七夕飾りが選ばれました。

当日は朝から晴天に恵まれ、大抽選会や和太鼓の演奏、打ち上げ花火などが開催され、多くの来場者でにぎわいました。



7/14

全日本大学野球選手権準V

6月に行われた全日本大学野球選手権大会で、準優勝した流通経済大学3年の生田目翼投手（大宮二中出身）が、市役所を訪れました。

面会した市長には、記念ボールにサインを入れてプレゼント。次の大会では優勝したいと、その意気込みを語りました。



◀ 記念ボールを手渡す
生田目選手

7/23

シニア選手権優勝を報告

アマチュアゴルフの第12回県社会人シニア選手権で初優勝を飾った櫻井義則選手（小場）が、市役所を訪れました。

櫻井選手は競技ゴルフを始めて18年、初めての優勝に本人が一番驚いていると、笑顔で市長に報告しました。



◀ 笑顔で優勝を報告する
櫻井選手

7/23

交通安全は家庭から

県交通安全キャラバン隊が、交通安全の意識の高揚と交通事故の防止を広報するため、常陸大宮市へやってきました。

歓迎式では、県母の会連合会の神戸礼子会長から市長へメッセージが伝達され、みのり保育園の和太鼓演奏がキャラバン隊を歓迎しました。



7/24・25

夏祭り（祇園祭） 素鷲神社

甲神社の境内にある素鷲神社の祭礼で、「関東の三大裸祭り」として有名な祇園祭が行われました。

1日目は子たちが神輿を担ぎ、威勢のよいかけ声をかけながら、元気いっぱい練り歩きました。

2日目は大人神輿の登場です。午後7時ごろ、神社の境内でお宮出しが行われ、神輿を前に進めようとする神輿当番町の組と、それを阻止しようとする風流物当番町の組がぶつかり合い、神輿が揉まれ、激しい攻防戦が繰り広げられました。その後、神輿は街の中心部を「オイサ、オイサ」というかけ声とともに勇壮に練り歩き、祭りを盛り上げました。

またイベント会場では、マジックショーやイバライガーショーが行われ、たくさんの来場者でにぎわいました。



▲上が子ども神輿、下が大人神輿

7/29

霞ヶ浦湖上体験

市内小学生とその保護者21人が参加して、霞ヶ浦湖上体験スクールを実施しました。（主催：市環境市民会議）

朝、バスで市役所を出発。行方市にある霞ヶ浦ふれあいランドに着くと、虹の塔展望台に昇り、地上60mから霞ヶ浦を眺めました。この日は霞がかかっていたましたが、晴れた日は富士山も見えるようです。

人間の水分量を実際に量りました▶



その後、水の科学館へ。ここでは、私たちが住む地球と水の関係や、その大切さなどを詳しく知ることができました。また様々な体験や実験ができ、みんな楽しそうにチャレンジしていました。



▲説明を熱心に聞く子どもたち

午後からは、船に乗って湖上体験へ。はじめに霞ヶ浦の歴史や水質について学んだ後、実際に透明度を確認したり、水の濁りを比べたりしました。また汲み上げた霞ヶ浦の水をルーペで確認し、水生生物や微生物を調べました。水道水と湖水の臭いを嗅ぎ比べた子どもたちは、臭い！消毒の臭いがする！など思い思いの感想を口にしていました。

参加した大宮小学校2年生の小林優雅くんは「実際にミジンコを見ることができて、とてもうれしかった。また来年も参加したい。」と話していました。

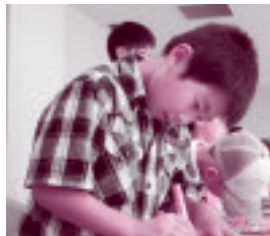
7/25

おもしろ理科先生

図書情報館に、おもしろ理科先生（飛田隆久先生）が今年もやってきました。今回は、熱で小さく縮むプラスチック板を使って、オリジナルのキーホルダーを作りました。

参加した親子は、好きな絵を描いたり、お気に入りのキャラクターを写し取ったりしながら、一生懸命制作に取り組みました。

絵を描いた後は、プラスチック板をオーブントースターに入れてスイッチオン！板は、熱に縮んだり反り返ったりしながらも、色鮮やかな絵を浮かび上がらせました。完成した作品に、子どもたちは目を輝かせていました。



▲どんなキーホルダーができあがるかな？

7/25

中学卓球で好成績

県民総合体育大会中学校大会の卓球の部で、市内の中学生在が素晴らしい成績を収めました。

シングルの2人は、8月に山梨県で行われる関東大会に出場します。



四倉 鈴 県大会5位
(大宮中学校2年)



佐藤幸美 県大会10位
(明峰中学校2年)



＜ダブルス県大会3位＞
田澤 幹生（明峰中学校3年）
岡山 遥寿（明峰中学校1年）
＊ダブルスは残念ながら
関東大会はありません。

6/17

ほんにし うちかみ ほ ぞんかい 本西の内紙保存会

当市で和紙の代名詞ともなっている「西の内紙」。一尺一寸×一尺六寸（およそ33cm×48cm いわゆる西ノ内判）の和紙であれば、どこで、どのように漉かれた紙でも「西の内」だってことご存知ですか？

市内の地名「西野内」に由来するこの和紙は、もともと当地のオリジナル。そこで、地元産楮を用い、化学薬品等で処理することなく、昔ながらの手作業でちり取りや紙漉きを行って生産した県北産の和紙を、“本場の西の内紙”という意味から「本西の内紙」と命名。このたびその伝統技術の保存・伝承を目的とする生産者団体、「本西の内紙保存会」が結成されました。

当市が誇る伝統産業の、新しいスタートに注目です。



8/12

久慈の杜100キロ徒歩の旅

第8回久慈の杜100キロ徒歩の旅（主催：久慈の杜未来塾）が、市文化センター前広場でゴールを迎えました。これは、子どもたちの生きる力を養うことを目的に、常陸大宮市、常陸太田市、大子町、東海村の小学生が4泊5日にわたって県北地域を歩くものです。

広場では、100キロの行程を歩き抜いた57人を保護者などが大きな拍手で出迎え、参加者は完歩の喜びを互いに分かち合っていました。



▲手をつないでゴールした参加者たち

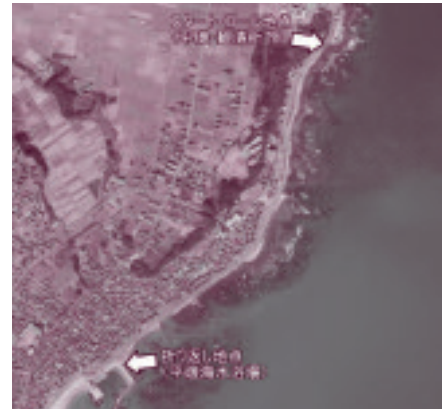
6/20

ノルディックウォーキング体験教室

ひたちなか市平磯で、ノルディックウォーキング体験教室が開催されました。

ノルディックウォーキングは、北欧のスキー競技者が夏場のトレーニングとして始めたものが起源といわれています。2本のポールを使い上半身を活発に使って歩行することで、肩周りのストレッチ効果や運動量増加が見込める健康的なニュースポーツです。

往復約4kmの道のり▶



▲ポールを使っの講習

その後、海沿いの県道約4kmをウォーキングしました。

太平洋を見渡しながらのウォーキングに、参加者からは「気持ちが良い」「思っていた以上に腕にこたえる」との声がありました。

みなとwaiwaiクラブの会員さんからは、「新そばの季節に、常陸大宮市へ行ってウォーキングをしたいなあ」という声も挙がっていました。

参加者最高齢の82歳女性（鷺子在住）は、新聞社の取材に対して「健康のために参加した。若い人の助けがなくても、一人でいつまでも歩いていられるように」と話していました。



▲みなとwaiwaiクラブの係員の皆さん

講師 菊田 利秀

日本ノルディックウォーキング協会公認インストラクター。普段は養護学校の教員として勤務されているとのことで、懇切丁寧な指導をしていただきました。





いっしょにまちづくり



地域の「宝」に触れた鷺子ツアー

7月11日、市まちづくりネットワーク主催の「祭り直前の鷺子を巡るツアー」に参加しました。その翌週5年ぶりに、「鷺子山上神社夏例大祭」が開催されるということで、神社の歴史と祇園祭について、説明を聞きました。大鳥居の中央が、茨城と栃木の県境という珍しい神社で、古来より「霊峰」といわれ、清清しく心地のよいところでした。

その後、地区の屋台を見せてもらい、彫刻などの細かな特徴に触れるだけでなく、祭りの臨場感までイメージすることができました。最後は、花輪組の方々の軽快な「鷺子囃子」に感激しつつ、参加者全員で、囃子太鼓を体験しました。

地元の歴史や文化財を、地元の方々に案内してもらったこのツアーで、「宝は足下にある」ことを実感しています。今後もネットワークのみなさんと、「宝」をみつけるツアーを企画・実施していくのが楽しみです。



ウダーベ音楽祭2015実行委員
木村由紀江さん

今月の耳より情報 No.5



テーマ

～星空観察～



一般に星が良く見える条件は、空気が澄み、周囲に照明がなく夜空が暗い状態といわれていて、市内は星空の観察に適した環境がそろっています。

なかでも、花立自然公園内には天文台「美スター」があり、望遠鏡の設計から組立、管理など、アマチュア天文家が担当する全国でも珍しい天文台があります。土曜日は一般観望会を開くなど、無料で観測ができます。また、山方地域のパークアルカディア内には、昼間でも星の観測ができるプラネタリウム館があります。（商工観光課）

皆さんは、子どもの頃ふと夜空を見上げた時に流れ星を見て、テンションが上がったり、願い事を言うのを忘れたりという経験はありませんか。

流れ星は、宇宙にある直径1mmから数cmのちりの粒が、地球の大気に飛び込んできて激しく衝突し、高温になって気化した成分が光を放つ現象のことです。

毎年決まった時期に、決まった場所から降り注いでくる流星の集団が流星群です。「ペルセウス座流星群（8月13日頃）」「ふたご座流星群（12月15日頃）」「しぶんぎ座流星群（1月4日頃）」など、三大流星群の観察にチャレンジしてみましょう。（Rさん・男性）

私は夏がくると、御前山青少年旅行村で見た星空を思い出します。

ケビンの外で一人たたずんでいた私は、ふと顔を上げた途端、声を失いました。星たちが私を包み込み、そこはまさに星空のプール。

思えば、ここは伊勢畑。香川敬三ゆかりの地です。香川敬三は野口の水戸藩郷校である時雍館や藤田東湖に教えを受け、また岩倉具視とともに国事に奔走した人物で、新撰組の近藤勇を捕えたといわれます。

偉人も仰ぎ見たであろう雄大な星空。私もいつの日か大望を遂げたいと思わずにはいられない今日この頃です。（Yさん・男性）

善意をありがとう

敬称略

<市役所へ>



常陽銀行（感謝プラン80）
広報機材、テント等の寄付

<市内各団体へ>



大相撲常陸大宮場所実行委員会
3,011,963円

☆急増！アフィリエイト・ドロップショッピングの勧誘☆

友人やSNSで知り合った人から、アフィリエイトやドロップショッピングの内職を紹介され、「知り合いを勧誘して会員を増やせば、収入が得られると説明された」といった、アフィリエイトという単語を用いたマルチ取引のような勧誘が増えています。

○アフィリエイト

ホームページやブログなどを作成し、製品、サービスの宣伝を書き、広告主（企業等）のサイトのリンクを張ります。閲覧者がそのページから広告主のサイトへ移行して、実際の商品購入につながった場合、売り上げの一部が自分の収入になるという仕組みです。

○ドロップショッピング

実際に、自分のホームページなどで商品を販売します。販売用の商品の仕入れ費用や、売った場合の手数料の支払いもあるため、売れても思ったほど簡単に収入にならない場合があります。

■問題点

- ・勧誘時の説明と実際の内容が大きく異なる
- ・簡単に儲かるように説明している
- ・高額な費用を請求し、支払えない場合は消費者金融やクレジットカード等の利用を促す
- ・マルチ取引で友人等から勧誘されるので断りにくい

□アドバイス

- ・簡単にお金を稼ぐことはできません、初期費用を取り戻すのは至難の業です。
- ・マルチ取引はトラブルが発生すると経済的被害だけではなく人間関係を損なうこともあります。契約の意思がないときは断りましょう。

○不安に思ったりトラブルにあたりした場合は、消費生活センター等に相談しましょう。

【問い合わせ】

- 茨城県消費生活センター ☎029-225-6445
 - 常陸大宮市消費生活センター ☎52-2185(直通) (本庁商工観光課内)
- ※月・水・金曜日は消費生活相談員が対応します。



VOL.14

職員のつぶやき ～職員リレートーク～

市民協働課の大森貴矢です。

市役所に入って最初に学んだことは、協働という言葉の意味です。協働とは異なる立場の者同士の対等な協力を意味し、相乗効果や付加価値を生み出すことです。

7月に行われた「鷺子山上神社祇園祭」では、和太鼓を披露しました。山車に2つの付太鼓、大胴おおどの計3張あやが付きます。3張の息が合って初めて1つの文となります。これが大変難しく、練習では苦勞くろうしました。しかし調和が取れた時はとても心地良く、苦勞の甲斐あやあったと感じられました。

この太鼓のように、これからたくさんの人と協働に取り組み、様々なものを生み出していきたいと思います。



▲右端が大森さん

慢性閉塞性肺疾患（COPD）について

健

康

通

信

常陸大宮済生会病院

呼吸器内科
中山 雅之 先生

COPD（慢性閉塞性肺疾患の略）は、たばこの煙を主とする有毒物質を長期間吸入することによって、肺に炎症を引き起こす病気です。この病気の患者数は増加していて、2020年までに全世界の死亡原因の第3位になると推測されています。

日本で2000年に行われた調査では、40歳以上の成人の8.5%、530万人がCOPDに罹患していることが明らかになりました。一方、調査でCOPDと診断された人の90%が、それまでにCOPDと診断されていませんでした。

主な症状は慢性の咳、痰と体を動かす時に出現する息切れですが、ゆっくりと進行するため、早期に気

づきにくいことが特徴です。重症になると、息苦しさのために日常生活が遅れなくなる、風邪などをきっかけに急な症状の悪化（増悪）などを繰り返すことになります。

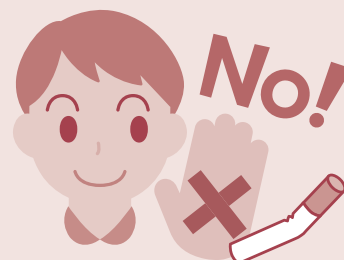
早期の診断には、呼吸機能検査が不可欠です。禁煙と適切な管理により、予防と有効な治療が可能な病気です。また、COPDの発症を予防したり進行を遅らせたりするためには、禁煙が最も重要です。さらには、インフルエンザワクチンや肺炎球菌ワクチンの接種も大切です。インフルエンザワクチンは、増悪によるCOPD死亡率を50%低下させることが報告されています。

軽症の場合では、症状の軽減を目的に、必要に応じて気管支拡張薬（気管支を広げる薬）を使用します。中等症では、症状の軽減に加え、生活の質の改善、運動能力の改善などが主な目標となり、気管支拡張薬の定期的な服用と、呼吸リハビリテーションがすすめられます。

重症の場合の薬物治療は、効果に応じて複数の気管支拡張薬が併用されます。呼吸不全（呼吸器能の低下により、十分な酸素を臓器に送れなくなった状態）を合併する場合、在宅酸素療法が行われます。

またすべてのCOPD患者に、身体活動の増加・維持が求められています。

40歳以上で喫煙歴があり、咳、痰が長く続く場合や、階段や坂道での息切れに気づいたら、医療機関を受診して呼吸機能検査を受けることをおすすめします。





水道讃歌

山方公民館諸富野分館の壁には、地区対抗で行われた様々な競技の賞状に交じって、「水道讃歌」と題した一枚の手書きの詩が掲げられています。

水の恩恵を最も多く受ける今の時期、この詩を糸口として、私たちの地域の水道の歴史をちょっと振り返ってみましょう。

◆「水道讃歌」

- 一、久慈の川原の清水の 山また山の諸沢に
誰か思いこの姿 山こえ谷こえ流るるを
 - 二、井戸水かるる夏の日に 谷間に手桶下げ行きて
うばうが如く汲みにしを かへり見るのも幾度か
 - 三、雪の積れるその朝 氷に足をすべらしし
悲しきことの思出も 今は昔の語り草
 - 四、彼方の山のいただきの 岩石くたく掘削機
こなたの谷の手作業と 水道管は入りゆく
 - 五、山の彼方の部落をも 向いの谷の独り家も
諸沢全戸うるほして 町営水道流れゆく
 - 六、夢にも思ひぬ大偉業 画せし人の偉大さよ
歓喜あふるこの水に 我は讃えぬその人を
- 昭和五十三年六月
詩 菊池 勝
書 会沢 忠

◆市内の水道敷設状況

この詩が作られたのは、わずか37年前。「山中の諸沢地区だから、水道の敷設が遅かった」わけではありません。表土が浅いうえに、地下が岩盤で井戸を掘ることが困難なため、生活用水に困ることが多かったからこそ、早い時期から綿密な計画を立て、平地の数倍の経費と労力をかけて整備されたのです。

むしろ、湿潤な里山を持ち、湧水や地下水に恵まれた地域のほうが水道の普及は遅く、旧美和村の簡易水道（注）事業の完成は昭和63年です。また敷設には、取水権の獲得や取水・浄化・給水設備への多額の投資、地域住民との意見交換等に長い時間が必要となります。旧御前山村では、昭和35年の野口宿・長倉宿の簡易水道敷設から、昭和58年の光戸地区簡易給水施設竣工まで断続的に24年、旧大宮町では、昭和33年下岩瀬簡易水道事業の着手から、昭和59年の大場簡易水道完成まで同じく27年の歳月を要しています。

（注）水道によって飲用に適する水を100人を超える給水人口に提供する水道事業のうち、給水人口が5,000人以下であるものを簡易水道事業といいます。

◆旧山方町の水事情

面積の大半が山地である山方地域は、水を得るための苦勞が多く、水道の導入は地域住民の悲願でした。旧町域を3つの地区に分けて行われた水道の整備は、昭和45年から9年間の継続事業。男体山系の峻険な山間地域である、家和楽・盛金・久隆・諸沢・北富田への水道敷設には、最後の4年間を費やしています。

『山方町誌 下巻』には、その難工事の様子を「標高400mの高所の集落に四段に分けて増圧送水する。幾重もの尾根を越え沢を越え、また、尾根を下り沢を下る。（中略）その上、大半が岩盤であるため水道管の敷設や資材の搬入等に変大困難をきわめた。沢筋には四つの減圧槽と十七の減圧弁を備え、また、尾根などの高いところへは六つの増圧機場と六つの配水槽を設置した。」と記しています。

◆小学生の作文「町えい水道ができた」

さらに『山方町誌』は、諸富野小3年生小野瀬千春さんの作文を載せ、水道の記述を終えています。

『わたしの家は、高いところにあるので雨がふらない日がつづく、すぐ水がなくなります。そんな時は、十分もかかるひろ子さんの家の井戸まで水をもらいに行きます。道が細くて坂なので、せっかくなってきた水がこぼれてしまいます。途中で何回も休みながらハアハアといきをきらしてやっと家につきます。そんな時おかあさんは、「早く町の水道ができるといいな」といいます。わたしも水があったら家のみんな安心できるのと思います。

今年の三月に、まっていた町の水道ができあがって水が使えるようになりました。うれしくてうれしくて、私と弟は、手をたたいてよろこびました。おかあさんにもこにこしながら「ゆめのようなだね。ありがたいね」とくりかえしくりかえし言いました。

こんな山の上まで水道がひけるなんてとても考えられませんでした。わたしは、よくわからないがとてもすばらしいことだと思います。』



▲山方公民館諸富野分館に掲げられた「水道讃歌」

歴史民俗資料館大宮館 ☎52-1450



9月1日は防災の日

防災の日は、大正12年（1923年）のこの日に発生した「関東大震災」を教訓に、防災を見直すため、また、この時期に多く発生する台風への心構えの意味も含め、昭和35年（1960年）に制定されました。

平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、マグニチュード9.0という巨大地震により、当市は震度6強を観測し、甚大な被害を受けました。ライフラインが寸断され、停電、断水が続き不自由な生活を送ることになり、私たちは地震の恐ろしさを思い知らされました。

いざという時、大切な命や財産を地震から守るには、日頃から危機意識を持つことが大切です。東日本大震災での教訓を生かし、通常の生活に戻った「いま」の備えを再点検し、緊急時の連絡手段、帰宅経路の確認、停電時の備え、食料品の確保など、ぜひ家族で話し合ってください。

地震に対する 10 の備え

1 家具類の転倒・落下防止

- ・家具やテレビなどを固定し、転倒や落下に備える。
- ・けがの防止や、避難に支障のないように家具を配置する。

2 けがの防止対策

- ・避難に備えてスリッパやスニーカーを準備する。
- ・停電に備えて懐中電灯を準備して、すぐに使える場所に置く。
- ・ガラスに飛散防止措置をする。

3 家屋や塀の強度を確認

- ・家屋の耐震診断を受け、必要な補強をする。
- ・ブロックやコンクリートなどの塀は、倒れないように補強をする。

4 消火の備え

火災の発生に備えて、消火器の準備や風呂水のくみ置きをしておく。

5 火災発生の早期発見と防止対策

- ・火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を設置する。
- ・普段使用しない電気機器は、差込みプラグをコンセントから抜く。
- ・電気やガスが原因で発生する火災防止のため、感電ブレーカーや感電コンセントなどの防災機器を設置する。

6 非常用品の備え

- ・非常用品は、置く場所を決めて準備する。
- ・車載ジャッキやカーラジオなど、身の回りにあるものの活用を考えておく。

7 家族で話し合っておく

- ・地震が発生した時の出火防止や初期消火など、家族の役割分担を決める。
- ・離ればなれになった場合の安否確認の方法や集合場所などを決める。
- ・家族で避難場所や避難経路を確認する。
- ・普段の付き合いを大切にするなど、隣近所との協力体制を話し合っておく。

8 地域の危険性を把握する

- ・地域の防災マップに加えて、我が家の防災マップを作る。
- ・自分の住む地域の地域危険度を把握する。

9 防災知識を身につける

新聞、テレビ、ラジオやインターネットなどから、防災に関する情報を収集し、知識を身につける。

10 防災行動力を高めておく

日頃から防災訓練に参加し、身体防護、出火防止、初期消火、救出、応急救護、情報連絡、避難要領などを身につける。



救急の日イベント

消防・救急フェア 2015 & 時空戦士イバライガーショーを開催

市文化センターで、地震・消火・応急手当・レスキュー等の体験や救急器具の展示、消火器の取り扱いのレクチャー、消防車両等の展示などを行う「消防・救急フェア2015」を開催します。

また、時空戦士イバライガーのショーや握手・写真撮影会を行います。

皆さんのお越しをお待ちしています。

9月12日(土) 10:00～14:00
市文化センターロゼホール

【幼年消防クラブ演目】 10:30～11:30

＊聖愛保育園、聖慈保育園、若草幼稚園

【火災・救助デモンストレーション】 11:45～12:15

【救急デモンストレーション】 12:30～13:00

【イバライガーショー】 13:00～

【各体験コーナー】

(起震車、消火、応急手当、消防車両と資機材、レスキュー…etc)

＊雨天の場合は、体験コーナーを一部中止します。



<昨年の「救急フェア2014」の様子>



■問い合わせ■ 消防本部 警防課 警防グループ ☎53-1153

ひたまるがゆく

なっとうどーもくんと再会!!

ロゼホール開館20周年を記念して行われた「新・BS日本のうた」の公開収録で、なっとうどーもくんと再会しました! なっとうどーもくんとは、昨年行われた「みんなでいばらナイト」の公開放送以来。その時は市が合併10周年を迎え、大きな声でハッピーバースデイを歌ってくれました。

この日は、ゆるキャラとしての心構えや子どもたちとの遊び方など、ゆるキャラ同士で熱く語り合いました。茨城の食の魅力をPRするなっとうどーもくんを見習って、自分も頑張ろうとファイトがわいてくるひたまるでした。



◀再会を喜び合う二人



スポーツクラブひたまる 25 情報局 Vol.12



7月28日、旧大場小学校体育館で、ニュースポーツ交流大会が開催されました。ひたまる25会員15人と一般参加者10人の計25人が、ユニカールとスポーツ吹き矢の2種目を競い合いました。

ひたまる25は、会員のみならず市民の皆さんがスポーツに親しむ機会を作るため、初心者向け卓球大会や、県外ウォーキング等のイベントを予定しています。

■問い合わせ■ マネージャー・小室 ☎080 - 5075 - 3921

生涯学習課 スポーツ推進グループ ☎52-1111(内線342・343)

ヤブミョウガ



(ツクサ科ヤブミョウガ属)



御前山ビオトープ周辺の植物等

関東地方より西の暖かい地方の、薄暗い林内などに生える高さ0.5～1mほどの多年草です。葉は長さ15～30cmの狭い楕円形で先は長く尖ります。8～9月頃茎の先に白い花が輪状に数段つきます。

花はよく見るととてもきれいなのですが、1つの花は1日で萎んでしまう1日花です。果実ははじめ白色ですが、熟すと濃い藍色になります。葉はミョウガの葉によく似ていて、和名はそこらついたものです。

(写真・データ提供 御前山ダム環境センター)

常陸大宮市の人口

(8月1日現在・推計常住者)

総人口 42,492人

(男 20,914人 女 21,578人)

世帯数 16,315世帯



QRコードから市のツイッターがご覧になれます

広報 常陸大宮 8月 第131号

発行日 平成27年8月25日

発行/常陸大宮市 編集/秘書広聴課

〒319-2292 茨城県常陸大宮市中富町3135-6

TEL 0295(52)1111 FAX 0295(53)6010

E-mail email@city.hitachiomiya.lg.jp

URL http://www.city.hitachiomiya.lg.jp/



再生紙と植物油インクを使用しています。